

復命書

2010年3月15日

新政会 代表
望月 厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2010年3月13日(土) 13:30から17:00	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	女性のための政治スクール第15期修了式 会場 剛堂会館(東京都千代田区紀尾井町)
	(2) 対 応 者	女性が救う?少子化・低成長時代 ～金融・経済政策とヒューマン・ニューディール 円より子 参議院議員 修了式 女性のための政治スクール事務局
3 目 的	15期のテーマ 経済危機を乗り越える～命・生活・雇用を守るために～10回シリーズのカリキュラム 例年、全国から参加の地方議員との情報交換も含めて、各回著名な方々のタイムリーな講義を聞いて、政策立案や総括質問など議員活動に生かすために参加している。今回は最終回修了式。	
4 内 容	(調査事項・調査結果を具体的に) 「女性が救う?少子化・低成長の時代」 ～金融・経済政策とヒューマン・ニューディール～ 参議院議員 円より子氏 氷山に向かっているタイタニック号の上でダンスパーティーをしているような状態だ!と現在の日本の経済状態を比喻した。15年前に、「女と文化と政治文化」との内容で国会で質問した時の内容と何も変わっていない。どうなっているのか?どうしていくべきか?政治家に何が求められているのか?政権交代と同時に政治文化も変えていくべきだと思う。1989年ベルリンの壁が崩壊・冷戦が終了。その年、合計特殊出生率が1.57となり、1.57ショックと言われた。ゆゆしきことだと、少子化対策・	

保育所対策が考えられたが、女性が子供を産まなくなったのは、高学歴化だ・女性が悪い！と言わんばかりの分析での施策だった。保育所対策で少子化の歯止めはかからない。その頃すでに、北欧などは、ワークシェアリングができていたり、若い世帯の住宅取得の税金の免除などがあつた。1970年代何とか頑張れば正社員になれた時代。かつて、ジャパンアズナンバーワンとエコノミストに言わせた時代。日本経済の1番いい時代。それから土地の下落、失われた20年と言われている。しっかりとした対策を取らなければならない。このまま人口減少が続けば、本当に日本は沈没してしまう。負の遺産は多いけれど、なんとか5年かけて変えていかなければならない。変えていく必要がある。1400兆の個人資産がある。400兆の個人負債。残1000兆のうち国債が700兆。あと300兆の余力があるだけ。そのほとんどが国債を買っている。300兆でもあと250兆しか可能ではない。毎年50兆以上の国債が必要になる。後5~6年しか発行できない。税収は40~50兆で歳出は40兆しかできない。国債を買ってえもらえる国は中国ぐらいしかない。国債の金利が上がって、円が暴落、中小企業は倒産してしまう。あと5~6年勝負。2009年の日本の国債のGDP比は192パーセント。このままでは、沈没する。あのギリシャでも108%だ。セキュリティとフレキシビリティの造語だが、フレキシビリティの導入が必要だ。働きながら個人の生活ができる。同一価値労働と同一賃金。世界の収入が増加し個人消費が増える。税制度の改革が必須。働き続けられる社会。教育格差の是正。高校教育無償化へ。円相場で左右される輸出入の対策。世界での日本の位置。草食系のシマウマと言われる日本、肉食系のライオンに食われてしまう金融面の対策の遅れ。内需拡大の中のデフレを何とかしなければならぬ。新しい公共。個人やNPOに仕事を分配していく。これからは、水での戦争が心配だ。又日本の知的財産の見直しも必要。労働力の整理。女性の力を活かす。観光など、経済の立て直しを考えなければならない。密かに、森林が外国から買われていることなどに敏感にならなければならない。日本の伝統産業文化の再確認を。畳の1畳の大きさは人間が一人横になって寝られる大きさ。人の声は、2~3階くらいまでしか届かない、など人間工学に基づいた産業の数々。これからは行政のお金を使うのではなく、地域の知恵を使う時代だ。特に女性たちが期待さ

	れている。
5 成果・市政への反映等	<p>何度目かの修了式。全国各地から来た受講生とゆっくりとはあまり話せないが、テーマでの情報交換ができて助かる。新しい公共は、わが市でも同じことを施策に入れているので、しっかりと実現できる方向をつくっていきたいと思う。市民と協働を超えた新しい関係？もあるかもしれない。やはり経済の安定があってこそ考えられることもたくさんあるので、経済を安定させる政策はかなり重要だ。静岡ならではと良い言うが、社会全体の経済安定が何より必要なことだ。また来期も参加し様々な静岡市政に役立つヒントを得たいと思う。 ^ ㄥ</p>